

コンクリート構造物の品質と耐久性向上を目指して

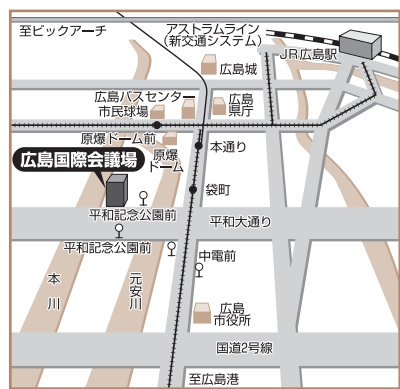
主催 一般社団法人セメント協会

後援 国土交通省中国地方整備局、土木学会中国支部、日本建築学会中国支部、日本建設業連合会中国支部、建設コンサルタンツ協会中国支部、広島県建設工業協会、全国生コンクリート工業組合連合会

趣旨 コンクリート構造物が半永久構造物であるといわれた時代は過去のものとなっています。高度経済成長期に大量に建設されたコンクリート構造物のいわゆる老朽化が叫ばれ、さらには塩害や中性化による鉄筋腐食・アルカリ骨材反応による想定外の早期劣化が少なからずみられ、その維持管理が大きな関心を呼んでいます。

これに呼応して、近年ではコンクリート材料およびコンクリート構造物の品質向上・耐久性向上が強く求められていることより、国土交通省をはじめとする公的機関においては技術提案を求め、学協会においては性能規定を行っています。今回のセミナーでは、コンクリート材料およびコンクリート構造物の品質と耐久性向上をキーワードに、5名のエキスパートに、行政・環境・設計・製造・施工といったさまざまな切り口で、明日の業務に役立つ、最新の技術を語っていただきます。

- **日時** 2014年2月28日(金) 10:00 ~ 16:35
- **場所** 広島国際会議場
〒730-0811 広島市中区中島町1-5 平和記念公園内
- **定員** 200名(定員になり次第締切させていただきます)
- **受講料** 1名あたり10,000円(テキスト代を含む)
- **申込先** 受講ご希望の方は、2014年2月18日(火)までに、
① 受講申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込ください。
② 受講料は、「郵便振替」(加入者名)：一般社団法人セメント協会、口座番号：00170-9-196803)で下記宛お振込みください。
①②を確認のうえ、受講券を送付させていただきます。
なお、お申込みされた後にご欠席の場合、セミナー終了後にテキストを郵送致します。
また、銀行振込希望の方は、下記宛ご連絡下さい。
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-4
一般社団法人セメント協会 普及部門
TEL:03-5200-5060 FAX:03-5200-5062
- 本セミナーは「土木学会認定CPDプログラム」です



- 【会場案内図】**
- ★ 路線バス……所要時間：約20分
 - 南口バスのりば A-3 ホームより、広島バス 24号線吉島営業所または吉島病院行「平和記念公園前」下車すぐ。
 - ★ 市内電車……所要時間：約25分
 - 広島港①行「袋町」下車、徒歩約10分
 - 西広島②、江波⑥、宮島行「原爆ドーム前」下車、徒歩約10分

講演

1 **10:05 ~ 11:05**
コンクリート舗装の版厚設計のあるべき姿とは？
 最近、コンクリート舗装が再び活用されつつある。コンクリート舗装は、これまで耐久性に優れるといわれてきたがその普及率は極めて低い。その最大の理由の一つは、初期建設コストが高い、養生期間が長いなど指摘されているが、期待されるほどに耐久的でない場合があり、しかも一旦壊れだすとその補修は容易でないところにあるのではなからうか。ここでは、現状の版厚設計を振り返りつつ、既存の常識にとらわれず、コンクリートの持つ長所を活かす舗装設計について考察した。
 キーワード：コンクリート舗装、版厚設計、耐久性、軟弱地盤、段差
 広島大学大学院工学研究院社会環境空間部門 特任教授 **佐藤良一氏**

2 **11:15 ~ 12:15**
コンクリートの品質・耐久性の向上に向けた中国地方整備局の取組み
 社会資本の計画・設計・施工・管理の上流から下流にいたる各プロセスにおいてコンクリートの品質・耐久性の向上に取り組んでいる。そうした視点から、技術開発の促進を図るための「新技術活用システム (NETIS)」や「大学との包括協定」の活用事例、構造物の劣化状況から得られた知見をとりまとめた「新設橋梁における設計・施工の留意点 (案)」、総合評価落札方式における品質・耐久性向上の技術提案の評価、技術職員の技術力向上に向けた取組みなどについて紹介する。
 キーワード：新技術活用システム (NETIS)、技術開発、品確法、総合評価、維持管理
 国土交通省中国地方整備局 企画部長 **足立 徹氏**

3 **13:15 ~ 14:15**
コンクリートの品質・耐久性向上と環境負荷
 コンクリート構造物が持続可能な発展を遂げていくためには、コンクリート構造物の品質向上・耐久性向上を考える上でも、コンクリートのサステナビリティ (持続可能性) を検討する必要がある。通常、サステナビリティには、環境性・経済性・社会性など様々な側面が含まれるが、その中でコンクリート分野において検討され始めているのは環境性 (環境負荷) である。コンクリートに関連する環境負荷がどのように評価され、また、コンクリートの品質向上・耐久性向上とどのように関連するのかについて考える。
 キーワード：耐久性、補修・補強、環境負荷評価、CO₂ 排出量、リサイクル
 広島大学大学院工学研究院社会環境空間部門 教授 **河合研至氏**

4 **14:25 ~ 15:25**
21世紀の建築物用コンクリートを考える
 —建築物用コンクリートにおける実情と課題—
 1970年代から新規コンクリートの開発と高度な技術管理が急速に進み、コンクリートへの要求性能は大きく変化した。近年、建築物用コンクリートも高強度、高性能、高機能化を目指すことが当たり前である。2000年6月に建築基準法が改正され、建築構造物に使用できる材料は建築基準法第37条に適合するものとなった。建築物用コンクリートを取り巻く多様な状況を踏まえ、21世紀の建築物用コンクリートのあり方について考える。
 キーワード：建築基準法、品確法、JASS 5、大臣認定、JIS A 5308、コンクリート製造 (一財) 建材試験センター経営企画部調査研究課課長 **鈴木澄江氏**

5 **15:35 ~ 16:35**
高耐久な構造物をつくるコンクリートの施工技術
 長寿命と考えられていたコンクリート構造物が、意外と早期に劣化する事例が頻発している。点検をして適切な対応をすれば延命化が図れるが、維持管理に関するシステムは未完の状態と言える。また、施工時に生じるひび割れなどの不具合を適切に処置せず初期欠陥を残すと耐久性に影響するため、施工品質を高める技術も必要である。コンクリートの施工全般を通して、コンクリート構造物の品質向上に必要な技術を概説する。
 キーワード：コンクリート施工技術、ひび割れ、施工品質、耐久性、早期劣化、維持管理
 広島工業大学工学部都市デザイン工学科 教授 **十河茂幸氏**

第303回コンクリートセミナー受講申込書

●セメント協会普及部門宛 (FAX. 03-5200-5062) にお送りください。

申込日 月 日
 勤務先 TEL. — — FAX. — —
 業種 官公庁 建設業 コンサルタント 生コン コンクリート製品
混和剤 学校 セメント その他()

住所 〒

受講者(連名可)

●業種は該当する□の中に✓印をつけてください。電話番号・郵便番号も必ずご記入ください。
 ●受講料は郵便振込・銀行振込致します。(どちらかに○をつけて下さい。)

右の欄は、受講券等をお送りするための宛名として、当方で切り取って封筒に貼付いたしますので、楷書でご記入ください。

受講券在中

□□□□-□□□□

都道府県 区町市郡
 殿

●勤務先等も必ずご記入ください。